

## BCAO関西支部 令和4年5月度(第168回)地域勉強会 議事録

日 時:2022年5月18日(水) 18:50~20:30

場 所: Zoom

司会者:飯田 書記:梅田

出席者:(関西支部)飯田、野原、櫻本、別役、大館、田中、萩原、中島、大下、上辻、湯地、高杉、鷺山、  
中村、西濱、柳父、山口、寅屋敷、梅田(書記) (計 19 名)

テーマ:「江崎グリコのリスクマネジメント取り組みについて」

講 師:江崎グリコ株式会社 飯田清人氏

概 要:

### (1)アジェンダ

- ①企業紹介
- ②リスクマネジメント体制・取り組みについて
- ③BCM について
- ④COVIT-19 対応

### (2)各論

#### ①リスクマネジメント体制・取り組み

- ・リスクマネジメント委員会が社長直下で設置(委員長:取締役)
- ・リスクマネジメント委員会のもとに、①品質安全保証部会 ②情報セキュリティ部会  
③コンプライアンス部会 ④災害対策部会 の4部会がある。
- ・リスクを①将来起こりうるリスク②部門にまたがるリスク(対応あり)③部門にまたがるリスク(未対応)  
④各部署責任のリスク の4点に分類整理している。
- ・活動取り組み:年1回のリスク分析に基づき、①委員会で取り組むリスク ②各部門で取り組むリスク  
+③広報対応(WEB 対策)にて、展開。
- ・リスク分析:影響度×発生可能性×対策レベル(各5段階)で評価
- ・リスクマップ:10月アンケート⇒11月まとめ・マップ作成、対応しているリスク・対応中のリスク・未対応の  
リスクに整理。

#### ②BCM の取り組み

- ・地震BCP&パンデミックBCPは作成済み⇒これに基づき様々な訓練を実施している。
- ・BCP訓練:①広域訓練(初動対応中心)、②責任者BCP研修(各部門の責任者)、  
③現場のBCP訓練(各拠点のメンバー)

#### ③コロナ対応

- ・時系列に記録表を作成。災害情報研究会市川代表の講演内容も反映

### (3)質疑応答

(萩原)・どの単位まで訓練を落としているか?

⇒マネジャー・リーダー集まってもらい訓練実施。どう下位のメンバーに落としていくかが課題。  
全社員向けのEラーニングは実施している。

(萩原)取引先との連携はどうしている?⇒サプライチェーンのBCP連携はまだ。まずは、自社の対応に集

中している。

(鷺山)各部署にRM担当を置いているか？

⇒リスク責任者は各部門長とし、各部門に個別リスク(部会)の担当者をアサインしている。

(鷺山)CRO(チーフリスクマネジメントオフィサー)は誰？⇒常務執行役員

(鷺山)リスク分析はアンケート形式とのことだが、具体的リスクを選択肢として事務局が提示しているのか、自由記入形式か？

⇒リスク例として事務局から提示しているが、それにとどまらず自由に記入してもらっている。

(鷺山)各部署の責任でできるリスク・部門をまたがるリスク・未対応リスク・対応しているリスク等についての分類は、誰が判断しているのか？

⇒評価は委員会がしている。リスクマップの優先度付けは、RM委員会・委員長・評価委員の評価を加えて整理している。

(田中)目標復旧時間の決め方はどう判断している？

⇒基準としては、「市場から商品がなくなる＝商品棚から商品を無くさない」でRTOを決めている。

(梅田)評価ポイントは、地震なら影響度5×頻度1＝5ポイントで低い値になるが、別途優先度付けについては、評価しているのか？⇒別途評価している。

(梅田)このリスク項目と経営目標からくる業務目標との優先度付けはどうしているか？

⇒各部門で判断している。

以上